

基本情報



【年 齢】
33歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
同上
【前 職】
横浜市職員
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

青年海外協力隊の同期が住んでいた川本町で、新しく女子高生が滞在する施設ができること、コーディネーターを募集していることを知りました。かつて青年海外協力隊で活動していく中で、高校生との関わりは私にとって「天職」だと感じていた私は実際に町を訪れ、移住を決断しました。

今後の抱負・任期後の目標

【卒業生に「まだいたの？」と言われること】
県立高校は先生方の異動があるので、卒業してから年月が経つと、知っている先生がいらっしゃらないケースがあります。
私はこの町で結婚しました。歳を重ねて子育て等も経験しながら寮で生徒たちをサポートし続け、訪ねてきた卒業生に「おかえり」が言える存在でありたいと思っています。

活動内容

●主役は寮生

オープンから2年以上過ぎ、高校の先生方と連携し、教育面でのアドバイスもいただきながら、寮生と関わってきました。オープンスクールの案内や月一回の大掃除、クリスマスやハロウィン等、寮生が主役になる場面が増えています。



●自分を健康にする力を育む

オープン当初から課題となっていたのが、残飯の多さでした。それをきっかけに、食育をメインテーマとし、講義の開催や調理の方との話し合いをしてきました。今後も、寮生が自分で自分を健康にする育む場所となるよう、引き続き活動します。(写真はひなまつりの特別献立)



●月一回の大掃除

大掃除を毎月するのは多いと感じられるでしょうか。「部屋の乱れは心の乱れ」という言葉があるように、生活している環境を清潔に保つことを大切にしています。また、毎月大掃除をしていく中で、時が経つにつれ当たり前のように協力しあっている寮生の姿は本当にすばらしいと思います。



連絡先